

別紙 2 - 2

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 10 月 22 日 (13 : 00 ~ 14 : 00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	上松、奥田、古海、倉、西浦、釜谷、来女木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	0 人	0 人	7 人

前回の改善計画	朝礼や申し送りノートの活用を進め、認識の共通化を図っていく。 送迎時を利用して、利用者本人だけでなく、家族からの情報収集に努める。 少ない情報でサービスが始まるため、事故の無いように見守りを大事にする。
前回の改善計画に対する取組み結果	朝礼や申し送りノートでの情報の伝達を行なっているが、認識の共通化までは至っていない。 送迎時には家族に様子を伝えたり、反対にオアシスでの様子を伝えている。 利用開始前の情報が不足していることが多く、サービス開始後に情報を追加している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	3	2	0	7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	6	0	0	7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	6	0	0	7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	6	1	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 朝礼や申し送りノートでの情報の伝達は出来ている。 サービス開始後に、訪問時や送迎時等を利用し、不足している情報の収集に努めている。 利用者の不安を受け止め、安心できるように対応している。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用開始前のミーティングが出来ず、情報量が少ないことがある。 申し送りノートに書かれている情報の共有化が不十分。 就業日数等の違いにより、意識の統一が図れていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 申し送りノートに記載された内容については必ず全員が目を通し、確認する。 利用開始後に、本人や家族から情報の収集に努め、得られた情報をカンファレンス用紙に記入していく。 サービス開始直後は、事故の無いように見守りを大事にする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 22 日 (13 : 00 ~ 14 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 上松、奥田、古海、倉、西浦、釜谷、来女木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	2人	1人	7人

前回の改善計画
個別介護計画書の作成・見直しの際には、ケアマネ・介護職・看護師が必ず参加し、多職種の見解を取り入れる。 本人の思いよりも家族の都合が優先されている場合、スタッフが間に入って調整していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
他職種の意見を取り入れた個別介護計画書を作成している。 本人の思いはわかっているが、家族の就労が優先されてしまっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	5	2	0	7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	5	2	0	7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	3	0	7
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	5	2	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個別介護計画書の見直しの際には、ケアマネ・介護職・看護師が参加している。 日々のコミュニケーションの中から本人の思いがわかれば、家族に伝えている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
限られたスタッフの人数で、一人ひとりとゆっくりと向き合い「～したい」思いまで関わることが出来ない。 スタッフそれぞれが関わった内容を共有するミーティングが出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
個別介護計画書の作成・見直しの際には、多職種 (ケアマネ・介護職・看護師) の意見を取り入れる。 本人の思いを共有するミーティングの場を設ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 22 日 (13 : 00 ~ 14 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 上松、奥田、古海、倉、西浦、釜谷、来女木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	0人	0人	7人

前回の改善計画
発言が少ない利用者には、入浴時間や送迎・散歩等、個別に関わる時間を利用して、思いを聞き取り、得られた情報は申し送りノート等に記録して共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果
入浴時間や送迎・散歩等、個別に関わる時間を利用して得られた情報は申し送りノート等に記録しているが、共有については不足している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	0	7	0	7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	6	0	0	7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	6	1	0	7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	5	0	0	7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	4	1	0	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	本人の状況に合わせた基礎的な介護はほぼできている。 来所時の体調(顔色・話し方・足の運び等)を観察し、対応している。 毎朝の申し送り時に情報を共有し、体調に合わせて支援している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	「以前の暮らし方」を10個以上把握出来ていない。 「以前の暮らし方」を本人が表現できない場合に家族から聞き取るが、良く知らない場合も多く、把握が困難。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	個別に関わる時間を利用して思いを聞き取り、得られた情報は申し送りノート等で共有する。 ミーティングの場を持ち、共有した情報を言語化していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 22 日 (13 : 00 ~ 14 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 上松、奥田、古海、倉、西浦、釜谷、来女木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	3 人	4 人	0 人	7 人

前回の改善計画
地域資源（ボランティア、行事や催し物等）について情報を集め、職員会議などでお互いに情報共有する場を設ける。 本人や家族からの聞き取りを基に、個々に必要な地域資源を探り出す。
前回の改善計画に対する取組み結果
集められた地域資源の情報は、職員会議などで情報共有している。 本人や家族からの聞き取りによる、個々に必要な地域資源の把握が不十分。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	5	2	0	7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	3	3	1	7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	3	0	7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	5	1	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	本人の話や家族からの情報によって、通い以外の過ごし方を把握できている。 家族や介護者との関係が切れないように、サービス利用時の様子等を伝える等、支援している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	サービスを利用することで、地域とのつながりが途切れてしまっている利用者がいる。 利用者が本当に必要としている社会資源の情報が少ない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	地域資源の一覧表を作成する。 本人や家族からの聞き取りを基に、個々に必要な地域資源を探り出す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 22 日 (13 : 00 ~ 14 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 上松、奥田、古海、倉、西浦、釜谷、来女木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	4 人	2 人	0 人	7 人

前回の改善計画	職員が小規模多機能のできる支援について学ぶ機会を定期的に設ける。 職員会議で利用者に関する話し合いで身体の変化だけでなく、気持ちの変化についても確認する。
前回の改善計画に対する取組み結果	小規模多機能が出来る支援について定期的に学ぶ機会を設けている。 職員会議で利用者に関する話し合いの機会を設け、身体の変化だけでなく気持ちの変化についても確認している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	2	4	1	7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	5	0	1	7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	5	1	0	7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	6	0	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ニーズに応じて、「通い」「訪問」「宿泊」は妥当適切に提供している。 本人の「変化」に気づいた時は、申し送りノートや朝礼などで共有している。 その日、その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援が出来ている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域資源を上手く活用できず、事業所の支援のみで完結している事が多い。 利用者やその家族に、多機能性を何でもしてもらえとの誤解が生じることがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 職員が小規模多機能について学び、出来る支援について理解を深める。 職員会議で利用者の変化について気付いたことを確認し共有する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 22 日 (13 : 00 ~ 14 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 上松、奥田、古海、倉、西浦、釜谷、来女木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	2人	1人	7人

前回の改善計画
担当者会議は、スタッフが複数で出席できるように調整していく。 地域行事や連携会議の情報は、共有できるように職員会議で報告する。
前回の改善計画に対する取組み結果
担当者会議には、出来る限り複数のスタッフで出席している。 地域行事や連携会議の内容は職員会議で報告している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	1	2	3	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	2	0	4	7
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	5	1	1	7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	5	0	1	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の防災訓練・福祉まつり・文化祭などの行事には利用者と一緒に参加している。 事業所の 2 階を地域の集まり等に開放しており、また、保育園児がイベント時に来所することがあるため、地域住民の訪問は多い。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
人員の都合で、会議への複数職員の出席ができない。 会議により、出席できる職員が限られている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
担当者会議にいろんな職員が出席できるようにする。 地域の活動やイベントに、職員だけでなく、可能な限り利用者も一緒に参加できるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 22 日 (13 : 00 ~ 14 : 00)

7. 運営

メンバー 上松、奥田、古海、倉、西浦、釜谷、来女木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	2 人	4 人	0 人	7 人

前回の改善計画
運営推進会議の内容をスタッフ全員で共有する。 運営推進会議に参加できない利用者・家族にも議事録を配布する。
前回の改善計画に対する取組み結果
運営推進会議の内容を職員会議で報告している。 運営推進会議の議事録の配布が出来ていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	4	2	0	7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	2	0	7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	1	1	7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	2	3	2	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	運営推進会議で指摘された意見を基に自動ドア等設備の改善に取り組むことが出来た。 運営推進会議で教えてもらったボランティアグループに来所してもらって行事を行った。 運営推進会議で出た意見は全員に周知し、改善に取り組んでいる。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	会議に出席する職員が限られている。 地域との協働に積極的に関わっているとは言えない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	運営推進会議に複数の職員が出席できるように調整する。 運営推進会議の議事録を全利用者・家族に配布する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 22 日 (13 : 00 ~ 14 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 上松、奥田、古海、倉、西浦、釜谷、来女木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	4 人	1 人	0 人	7 人

前回の改善計画
資格取得を促す声掛けと共に、後方支援（シフト調整）を積極的に行っていく。 小さな問題も全てヒヤリ・ハットに残し、職員会議等で検証していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
防火管理者、たん吸引、介護支援専門員資格が取得出来た。 ヒヤリハットを記録し、職員会議で毎月報告している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1	6	0	0	7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	4	3	0	7
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	0	6	7
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	7	0	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	職場内研修については、全員参加を目指し、欠席者は自己学習にて報告書を提出している。 資格取得に向け、全員積極的に取り組み、シフト調整に協力している。 小さな問題もヒヤリハットに残している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	地域連絡会への参加が出来ていない。 職場外の研修への参加が出来ていない。 事故後の振り返り・検証が不十分な時がある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	リスクマネジメントについて、学ぶ機会を設ける。 職場内研修以外の研修への参加しやすいように、情報の提供とシフトの調整を行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 22 日 (13 : 00 ~ 14 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 上松、奥田、古海、倉、西浦、釜谷、来女木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	2人	0人	7人

前回の改善計画
プライバシー配慮の面から、入浴や排泄のチェックを他者に聞こえる声で行わない様にし、お互いに注意する。 無意識に拘束を行っていないか、定期的に職員会議等で検証する。
前回の改善計画に対する取組み結果
入浴や排泄のチェックの記録を優先し、他者に聞こえてしまうことがある。 無意識にとった行動が拘束になっていないか、職員会議で検証している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	3	4	0	0	7
②	虐待は行われていない	5	2	0	0	7
③	プライバシーが守られている	1	3	3	0	7
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	4	1	1	7
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	6	0	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	身体拘束・虐待は行われていない。 転倒リスクのある利用者に対しては、すぐに介助できる距離で対応している。 成年後見制度の利用者がいる。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	トイレ誘導や排泄のチェックが他者に聞こえている。 フロアーが狭く、配慮はしていてもプライバシーが守られていないことがある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	職員間の報告や確認の声掛けが他者に聞こえない様に配慮し、気付いた時にはお互いに注意し合う。 個人を尊重し、虐待や拘束が行なわれていないかを、職員会議で定期的に検証していく。